

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年05月24日

計画の名称	多久市における浸水対策の推進（防災・安全）													
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	多久市													
計画の目標	集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、流域が一体となって総合的な浸水対策を実施することにより、安全・安心、快適な暮らしを実施する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		473	A	473	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	下水道による都市浸水対策達成率を43.7%（H25末）から71.5%（H30末）に増加させる 都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね10年に1回発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。 下水道による都市浸水対策達成率（%）= 概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積（ha）/ 都市浸水対策を実施すべき区域の面積（ha）	44%	65%	72%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	多久市	直接	多久市	管渠(雨水)	新設	山犬原川第2雨水幹線整備	L=300m	多久市						97	-		
	A07-002	下水道	一般	多久市	直接	多久市	管渠(雨水)	新設	砂原川第1雨水幹線整備	L=200m	多久市							94	-	
	A07-003	下水道	一般	多久市	直接	多久市	管渠(雨水)	新設	長尾川第2雨水幹線整備	L=680m	多久市							282	-	
											小計							473		
											合計								473	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 市内部評価	事後評価の実施時期 令和元年5月
	公表の方法 市ホームページにて掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	浸水対策として下水道（雨水）の整備を推進することで、安全・安心、快適な暮らしの実現に寄与することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
平成26年度から平成30年度までの5年間で社会資本総合整備計画(防災・安全)による下水道事業を行い、定量的指標を達成することができた。未整備地区においては、現在のところ下水道整備による浸水対策の予定はないが、今後は河川等の改修や浸水被害の状況により検討を行いたい。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道による都市浸水対策達成率	
	最終目標値	72%
	最終実績値	72%